



木タテカレーの給食に喜びいっぱいの児童たち

内特産品のホタテのおいしさを児童生徒に知つてもらおうと、「全国カレーの日」の1月22日、本町地区の小中学校で、ホタテカレーが給食メニューに登場しました。学校

給食センターが、いぶり噴火湾漁業協同組合から2年員210名、1,680枚の無償提供を受け実施したものです。

洞爺湖温泉小学校の3・4年生クラスでは、大好きなカレーに頬も緩み、家庭ではあまり作らないホタテ入りのカレーを堪能していました。前日の21日には、洞爺地区の小中学校で、ホタテ入りグラタンが給食の献立となりました。

全国カレーの日にホタテカレー給食に登場 いぶり噴火湾漁業協同組合ホタテ無償提供

文化財防火デーで防災訓練 放水・消火を体験

1月26日の文化財防火デーに合わせて、1月24日入江高砂貝塚館で防火訓練を行い、約25人が参加しました。

1階展示室から出火したとの想定で、警報のブザーとともに避難を開始し、貴重な土器や石器などの展示品を運びだしました。

屋外では、洞爺湖支署の消防車1台が駆けつけ放水を実施。引き続き同署員の指導で、児童たちが、放水活動を体験しました。最後に参加者たちによる消火器を使用した消火活動を行い、訓練は終了しました。

終了後は、歩くスキーで史跡高砂貝塚内の散策を行ない、昼食として提供された縄文鍋を囲み、楽しいひと時を過ごしました。

消防署員の指導で放水を行う児童

冬の健康づくり 洞爺湖畔でノルディックウォーキング

冬の運動不足解消を目的に「健康づくりウォーキング—洞爺湖畔を歩こう—」（健康づくり推進員会主催）が、1月27日行われ、推進員を含め29人が参加しました。

今回は、ストックを使って歩くノルディックウォーキングで、噴水公園駐車場から旧トーヤ温泉ホテルまでの往復約3キロの道のりを歩きました。

同ウォーキングは、転倒の予防にもなり、消費エネルギーも通常より1～2割高いなど冬の健康運動として推進されています。



ストックを手に湖畔を歩く参加者



新田会長（後列右）と受賞した虻田小の児童たち



受賞した山本元太君（虻田中）

洞爺湖ロータリークラブ（新田裕基会長）の企画で、町内の小中学生を対象に初めて実施した読書感想画・読書紹介文の表彰式が、1月27日、虻田小学校と虻田中学校で行われました。最優秀賞には、感想画小学生の部で小野寺陽月さん（2年）、紹介文の小学生の部には秋田恩さん（4年）、中学生の部で山本元太君（3年）が受賞しました。

それ以外の入賞者は次の通り。

■読書感想画 ◆小学生の部 ▷優秀賞 今野憂斗君（5年）生田日南さん（6年）

■読書紹介文 ◆小学生の部 ▷優秀賞 釣賀優和君（2年）山本珠璃さん（3年）

読書感想画・読書紹介文の入賞者 表彰 読書の慣習を呼びかける

まちのわだい